

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(6月1日～6月7日)

2019年6月11日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領、レオニード・クチマ・三者コンタクトグループ(以下 TCG)・ウクライナ代表と会談(6/5)
- マケイ外務大臣、「東方パートナーシップ 10 周年:成果と展望」専門家評議会に出席(6/4)
- ペトリシェンコ副首相一行、サンクトペテルブルク国際経済フォーラムに出席(6/7)

大統領動静

●ヴィテプスク州を訪問(6/7)

ルカシェンコ大統領はシェルストニョフ同州知事、ナフタン社経営陣と会談。同知事との会談では、地域発展戦略に関する協議を行った。同知事より、「同州の社会・経済発展は順調に進んでいるものの、ナフタン社の状況が芳しくなく、改善点はある。一方で、州として、ナフタン社をはじめとする石油精製企業への依存脱却を目指している」と報告。ナフタン社への訪問では、同社経営陣との会談に加え、従業員との交流、工場訪問等を行った。

(6/7)

●レオニード・クチマ・三者コンタクトグループ(以下 TCG)・ウクライナ代表と会談(6/5)

ルカシェンコ大統領の発言は以下の通り

- ・クチマ代表は政治から離れることはできない。
- ・私を含め、ベラルーシ国民がクチマ TCG ウクライナ代表の来訪を嬉しく思っている。
- ・ベラルーシ・ウクライナの二国間関係は信頼を基に成り立っている。2018 年の貿易高は55億 USD であった。
- ・クチマ代表と会談するため当初予定していた出張をキャンセルした。

クチマ TCG ウクライナ代表の発言は以下の通り

- ・ベラルーシが TCG で果たす役割は非常に大きい。
- ・TCG 開催地をミンスクから変更すべきとの意見もあるが、非常にばかげた話である。TCG において通常の対話を行える場所であるからこそ、ミンスクが開催地として選ばれたのである。
- ・ベラルーシおよびミンスクへの訪問、および尊敬す

るルカシェンコ大統領との会談は私にとって非常に嬉しいことである。

(6/5 大統領府)

●フランシス・ガリー世界知的所有権機関(以下 WIPO)事務局長と会談(6/4)

同会談で、両者はベラルーシ共和国・WIPO 間の協力に関する覚書を署名。

(6/4 大統領府)

内政・外交

【外交】

●イタリア国会にてベラルーシとの友好部会設立(6/5)

同部会のトップは、「イタリアの同胞」党のフランチェスコ・ロロブリジッド下院議員。

(6/5 ベルタ通信)

●マケイ外務大臣、「東方パートナーシップ 10 周年:成果と展望」専門家評議会に出席(6/4)

同大臣の発言内容は以下の通り。

- ・強く、統一された EU および大西洋・ユーラシア大陸における安定したパートナーシップを強く求める。
- ・東方パートナーシップの発展は、EU およびユーラシア経済同盟の対話を必要とする。
- ・ベラルーシは、「リスボンからウラジオストク」までの経済圏創出により大きな利益を享受できると見込んでおり、同経済圏の土台として、EU・ベラルーシ間の基本合意締結、WTO 加盟を行う必要がある。同基本合意交渉開始は直近の優先事項である。
- ・中国は東方パートナーシップ参加国全てにとって、

貿易・投資の優先パートナーである。中国の「一帯一路」は、EUの「TEN-T」へ繋がる。

・次回の東方パートナーシップ 10 周年ハイレベル会合は、2019年秋にミンスクで開催される予定である。

(6/4 ベルタ通信)

●ルマス首相、ラポータ連合国家書記長と統合問題に関する協議の為、会談(6/4)

(6/4 ベルタ通信)

●クラフチェンコ外務次官、バルト海沿岸諸国評議会ハイレベル会合に出席(6/4)

クラフチェンコ次官は、ラトビアにて開催された同会合にオブザーバーとしての出席、「ベラルーシと同評議会の協力」というテーマ別の協議において発言を行った。なお、同協議では、ラトビア、リトアニア、スウェーデン、ポーランドの外務大臣、ロシアの外務次官が発言を行った。その他、ヘルガ・シュミット欧州対外行動庁事務局長との会談も行った。

(6/4 ベルタ通信)

●メーゼンツェフ新露大使、ミンスクに到着(6/2)

(6/2 ベラパン通信)

●トゥルチン副首相一行、カザフスタン訪問(6/1)

産業省、ベルネフチェヒム、その他重工業企業代表らが同行。同一行は、アスカル・マミン・カザフスタン首相と会談を行った。同訪問は、2019年下期に予定されているルカシェンコ大統領のカザフスタン訪問の下準備のために行われた。また、カザフスタン製石油の購入に関する議論も行われた。

(6/1 ベラパン通信)

経済

【対外経済】

●第 22 回ベラルーシ・ポーランド経済フォーラム「善隣関係」開催(6/7)

(6/7 ベルタ通信)

●ペトリシェンコ副首相一行、サンクトペテルブルク国際経済フォーラムに出席(6/7)

同副首相に加え、セマシコ在露ベラルーシ大使、クルトイ経済大臣、ザクレーフスキー・エネルギー省次官らが同行。同フォーラムにおいて、ベラルーシ開発銀行・ユーラシア開発銀行間の相互理解に関する覚書が締結された。

(ベルタ通信 6/7)

●ベラルーシ経済省・国際金融公社、共同協力に関する覚書を締結(6/5)

同覚書の主要項目は、以下の通り。

- ・中小企業への資金融資改善のための共同保証基金設立
- ・女性の企業活動支援
- ・世銀 Doing Business におけるベラルーシの順位改善に向けた協力

(6/5 ベルタ通信)

●国際農業展覧会「ベルアグロ」開催、29カ国 550社が参加(6/4-9)

(6/4 ベルタ通信)

●2019年1-4月、貿易高、去年同期対比 1%減

同貿易高は227億870万ドル。内訳は以下の通り

輸出高: 103億9470万ドル

輸入高: 123億1400万ドル

貿易赤字高は19億1930万ドル

(6/2 ベラパン通信)

●ベラルーシ、石油および石油製品の輸出関税引上

6月1日から関税率は以下の通り引き上げ。()内は前回の税率。

石油 1t: 110, 4ドル(104, 6ドル)

ナフサ 1t: 60, 7(57, 5)

ガソリン 1t: 33, 1(31, 3)

(6/1 ベラパン通信)

(了)